

(6.別冊)

令和6年度

主なる施策の事業概要説明

令和6年度

主なる施策の事業概要説明 目次

課名	ページ
総務課	1～4
まちづくり戦略課	5～8
町民税務課	9～10
健康福祉課	11～16
生活安全課	17～20
産業課	21～22
都市建設課	23～27
上下水道課	28～30
議会事務局	31～32
教育委員会	33～37

令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

総務課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	人権推進室	【新規】 隣保館施設管理事業	9,372千円
2	人権推進室	【継続】 人権問題対策事業	3,480千円
3	庶務人事G	【継続】 人材育成事業	—
4	財務G	【継続・拡充】 複合庁舎整備事業	—
5	財務G	【拡充】 財政管理事業	1,407千円

【新規】改修工事施工による施設の継続的利用の確保

総務課人権推進室

事業名	隣保館施設管理事業(51ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	9,372千円【+896千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 令和7年度改修工事施工に向けた設計業務委託

事業の目的

- この施設は、地域のコミュニティセンターや人権推進活動の拠点となっており、屋根を改修することによって利用者が安心・安全に会議、サークル自主活動等が継続的に実施できるようにする。

主な事業内容

- ◆ ふれあいセンターについては、平成2年10月に竣工後34年が経過しており、平成25年度に屋根以外の部分についての改修工事を実施しているが、今回、屋根全体が経年劣化によって、改修が必要な状態となっている。
- ◆ 屋根のふき替えにより雨水の侵入を防ぎ、施設の劣化を最小限に抑える。
 - ・工事設計業務委託 1,320千円

【継続】人権施策の推進

総務課人権推進室

事業名	人権問題対策事業(52ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	3,480千円【▲400千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 法務省人権擁護局が掲げる人権課題解消に向けた啓発活動の実施

事業の目的

- 人権は、私たちが人間らしく生きるための権利で、人種や民族、性別などの違いにかかわらず、すべての人が生まれながらに持つ権利である。
しかし、現実の社会では、部落差別問題や高齢者・子どもの虐待などが発生していることから、継続して人権を守る啓発活動を実施していくことが求められている。

主な事業内容

- ◆ ふれあいセンターに生活相談員を配置し、生活相談(人権・福祉・教育・就労等)を実施する。
- ◆ 人権週間等における人権擁護委員による人権相談所を開設する。
- ◆ 町イベント開催時における人権啓発活動を実施する。
- ◆ ふれあいセンター来館者にパンフレット等による人権啓発活動を実施する。
- ◆ 人権団体の主催する研修会の参加及び支援を行う。

【継続】職員の育成強化による組織パフォーマンスの向上

総務課庶務人事G

事業名 人材育成事業

予算額 一千円【一千円】

※令和6年度、本事業実施に係る予算は執行なし



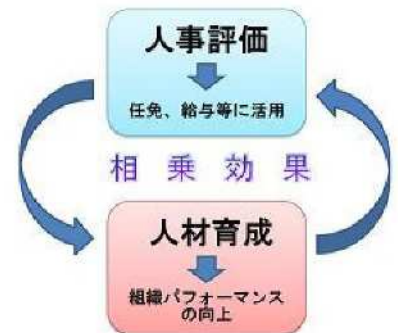
- 人事評価制度の更なる活用による職員のモチベーションの向上
- 多様な研修に参加する機会の確保

事業の目的

- 五霞町人材育成基本方針に定める「求められる職員像」を目指し、職員の自主性及び積極性を重視した人事制度を構築する。その上で、職員各々の能力が十分に発揮できる環境づくりに努める。

主な事業内容

- ◆ ジョブローテーションを効果的に実施し、人事配置による能力開発を図る。
- ◆ 人事評価制度の更なる活用を図り、職員のモチベーションを高める。
- ◆ 多様な研修に参加する機会を確保する。
- ◆ 毎年の健康診断やストレスチェックの結果などに、産業医が直接職員に助言・指導することで、重症化リスクを軽減し、職員の健康を守る。



主要

【継続・拡充】複合庁舎の整備推進

総務課財務G

事業名 複合庁舎整備事業

予算額 一千円【一千円】

※本事業実施に係る予算については、別事業で計上



- 役場庁舎と中央公民館の複合化

事業の目的

- 建築から60年余が経過し老朽化が進む役場庁舎、また同様に更新時期を迎える中央公民館を複合化し、安全・安心なまちづくりの拠点、並びに文化と町民活動の拠点として再整備する。



五霞町役場庁舎



五霞町中央公民館

主な事業内容

- ◆ 基本計画に基づき建設予定地の地区計画策定等の許認可手続きを進める。
 - ・地区計画等策定業務委託 4,400千円
 - ※適正土地利用推進事業にて計上。
- ◆ 設計業務発注に向けた準備を進める。

建設予定地



スケジュール

- R6 地区計画の策定
- R7 都市計画の変更
- R8 基本設計
実施設計
- R9 工事施工
- R10 供用開始

【継続】健全な財政運営

事業名 財政管理事業(32ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 1,407千円【+557千円】

※【】内の数値は対前年度比



➤ 健全な行財政基盤の確立

事業の目的

- 自主・自立的な行政主体として、自主財源の確保などに努めながら、中長期の財政見通しに基づき安定性のある健全な行財政運営基盤の確立を目指す。

主な事業内容

- ◆ 今後、財政負担の伴う事業を精査し、中期財政見通しを更新する。特に健全化判断比率については、一般会計のみならず企業会計の経営についても注視していく。
- ◆ 入札参加資格審査申請の定期更新受付を実施する。
 - ・入札参加資格電子申請システム使用料 1,076千円

中期財政見通しにおける収支見込



令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

まちづくり戦略課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	政策G	【新規】 地方創生推進事業	23,276千円
2	政策G	【新規】 行政管理事業	11,866千円
3	広報戦略G	【拡充】 ふるさと応援寄附金事業	138,647千円
4	広報戦略G	【拡充】 観光振興事業	5,283千円
5	広報戦略G	【拡充】 情報発信事業	5,722千円
6	デジタル推進室	【拡充】 デジタル推進事業	82,120千円

【新規】地域外人材誘致による地域活性化の推進

まちづくり戦略課政策G

事業名	地方創生推進事業(38ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	23,276千円【+11,852千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 地域おこし協力隊2名の着任

事業の目的

- 人口減少や高齢化等の進行が著しい地域において、地域外人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、地域を活性化させる。

主な事業内容

- ◆ 地域おこし協力隊2名により、町イベントを含めたイベントの企画・運営を行い、イベントを通して関係人口の創出事業を展開する。
 - ・地域おこし協力隊活動業務委託料 9,600千円
- ◆ 移住希望者一人ひとりのニーズに沿った相談対応や町の魅力を発信するなど移住実現に向けたサポートを行う新たな地域おこし協力隊を募集する。
 - ・募集に係る経費(PR委託料等) 1,116千円



【新規】第6次五霞町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

まちづくり戦略課政策G

事業名	行政管理事業(33ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	11,866千円【+8,977千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 第6次総合計画第Ⅱ期基本計画の策定

事業の目的

- 各施策・事業の成果の評価を実施し、総合計画に掲げた目標の実現を目指す。
- 総合計画の重点プロジェクトとして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を位置づけ、人口・経済・地域社会の課題を解決する事業について重点的に取り組む。

主な事業内容

- ◆ 令和2年3月に策定した第6次総合計画基本構想における施策の枠組みを踏まえたうえで、第Ⅰ期基本計画(2020年～2024年)を見直し、第Ⅱ期基本計画を策定する。
 - ・第6次五霞町総合計画第Ⅱ期基本計画策定委託料 10,615千円

計画の期間

- ◆ 基本構想
令和2年度～令和21年度

- ◆ 基本計画
 - 第Ⅰ期 令和2年度～令和6年度
 - 第Ⅱ期 令和7年度～令和11年度
 - 第Ⅲ期 令和12年度～令和16年度
 - 第Ⅳ期 令和17年度～令和21年度

【拡充】ふるさと応援寄附金による地域活性化の推進

まちづくり戦略課広報戦略G

事業名 ふるさと応援寄附金事業(33ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 138,647千円【+28,404千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 商品開発や6次産業化による新規返礼品の増加
- 掲載WEBサイトの追加

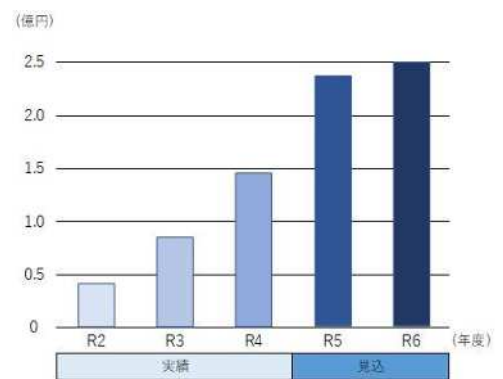
事業の目的

- ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングの仕組みを活用し、自主財源確保に努め、町を応援してくれる人を増やし、特産品で町をPRする。

主な事業内容

- ◆ 全国から注目を集める返礼品で町をPRする。
- ◆ WEBサイトを追加して、中間管理業者、ごかみらいLab、地域事業者と連携して取り組む。
- ◆ 茨城県内の自治体と協力し、共通返礼品の取り扱いを増やし、県内の魅力アップを図る。
- ・令和6年度歳入 250,000千円

五霞町ふるさと納税寄附金額の推移



【拡充】観光・イベントによる地域活性化の推進

まちづくり戦略課広報戦略G

事業名 観光振興事業(78ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 5,283千円【+554千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 観光・イベント施策の強化
- シン・いばらきメシ総選挙2024ご当地グルメで町をPR

事業の目的

- 観光資源の新規発掘や既存資源の見直し、また、イベントによる地域の盛り上がりなど、町民・町外の方に町を知って、分かって、楽しんでもらい、より一層の魅力向上を図る。

主な事業内容

- ◆ 既存イベントの充実、新規イベントの企画などで地域を盛り上げる。
 - ・イベント推進事業補助金 3,688千円
- ◆ 地域おこし協力隊(2名)を中心に、観光資源の発掘・見直しやイベント施策の充実を図る。
- ◆ 町オリジナルメニューを新たに創って、イベントに参加し、町をPRする。
 - ・シン・いばらきメシ 総選挙2024補助金 300千円



【拡充】町内・町外への積極的な情報発信の推進

まちづくり戦略課広報戦略G

事業名 情報発信事業(32ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 5,722千円【+830千円】

※【】内の数値は対前年度比



- 町公式ホームページリニューアル
- 全国へ情報発信が可能となる「PR TIMES」の本格運用開始

事業の目的

- あらゆる情報媒体を活用しながら、積極的に発信することで、町民・町外の方が町を知って、つながって、交流するきっかけづくりを行い、関係人口の増加を図る。

主な事業内容

- ◆ 町公式ホームページを見やすく、分かりやすくリニューアルする。
 - ・ホームページ構築業務委託料 1,584千円
- ◆ PR TIMESを活用し、全国へ情報発信する。
 - ・プレスリリース配信サービス業務委託料 924千円
- ◆ ごかりんクラブアプリと電子図書館サービス連携の普及推進。
 - ・ごかりんクラブアプリ維持管理業務委託料 106千円
- ◆ 見やすい広報紙やSNSを活用し、積極的に情報発信を行う。
 - ・広報ごか印刷製本費 2,958千円



主要

【拡充】デジタル時代のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進

まちづくり戦略課デジタル推進室

事業名 デジタル推進事業(37ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 82,120千円【+28,610千円】

※【】内の数値は対前年度比



- 情報格差の解消
- 職員の人材育成とデジタル技術の有効活用による業務効率化

事業の目的

- デジタル社会において、町DX推進計画に基づき、スマートフォン等を活用した町民の利便性向上やデジタル技術を活用した行政事務の業務効率化などを図る。

主な事業内容

- ◆ 町民向けスマートフォン等教室の開催による情報格差の解消を図る。
 - ・講師謝礼(年間30回予定) 946千円
- ◆ 国が定めた期限内に標準化システムへの移行を行う。
 - ・戸籍情報システム標準化移行業務委託等 24,354千円
- ◆ 職員が使用する情報系システムパソコンを入れ替えることで業務の効率化と情報セキュリティ強化を図る。
 - ・情報系システムパソコンリース料(150台) 17,942千円



令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

町民税務課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	町民G	【拡充】 重度障害者医療費給付事業	22,800千円
2	税務G	【継続】 町税徴収事業	10,562千円

【拡充】重度心身障害者の方の生活の安定と福祉の向上

町民税務課町民G

事業名 重度障害者医療費給付事業(58ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 22,800千円【±0千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ 医療費の自己負担分を全額助成

事業の目的

- 重度心身障害者の方の、生活の安定と福祉の向上に寄与する。

主な事業内容

- ◆ 医療費の自己負担分を全額助成する。
- ◆ 以下の障害を重複している者へ拡充する。
身体障害者4級・療育手帳B・精神障害者手帳2級

【現行】

- 身体障害者手帳1級・2級・3級（内部障害）
- 療育手帳④・A
- 精神障害者手帳1級
- 重複所持者 身体障害者手帳3級（内部障害以外）
かつ療育手帳B



【拡充範囲】

- 身体障害者手帳4級
 - 療育手帳B
 - 精神障害者手帳2級
- 手帳所持が重複していること

【継続】税の公平性確保

町民税務課税務G

事業名 町税徴収事業(44ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 10,562千円【+1,286千円】
※【】内の数値は対前年度比



- デジタル化による納付手段の拡大
- 町県民税(普通徴収)の納付書が新たにQRコード対応

事業の目的

- システムを活用することにより、収納率の向上に努め、税の公平公正を確保する。

主な事業内容

- ◆ 課税情報と収納情報が一体的に管理できる電算処理の業務委託等を行う。
 - ・ 収納電算業務委託料 2,168千円
 - ・ 電算機器使用料 5,119千円

令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

健康福祉課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	社会福祉G	【新規】 地域子育て支援事業	27,889千円
2	社会福祉G	【継続】 地域生活支援事業	24,359千円
3	社会福祉G	【継続】 障害者（児）社会参加支援事業	17,386千円
4	社会福祉G	【継続】 価格高騰臨時交付金支給事業	25,005千円
5	健康支援室	【新規・拡充】 予防接種事業	18,154千円
6	健康支援室	【新規】 健康増進事業	19,070千円
7	健康支援室	【拡充】 健康増進事業（がん検診）	19,070千円
8	高齢者支援G	【拡充】 生活支援体制整備事業	4,738千円
9	高齢者支援G	【継続】 認知症総合支援事業	5,001千円

【新規】放課後のこどもの居場所づくり

事業名 地域子育て支援事業(61ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 27,889千円【+455千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 放課後のこどもの居場所づくり
- こども計画の策定

事業の目的

- 小学校5、6年生の児童に対し、閉館後の児童館を利用して学習のサポートや遊びの場を提供することで、その健全な育成を図るとともに、共働き世代に対する子育て支援を行う。
- こども政策を総合的に推進するための計画を策定する。

主な事業内容

- ◆ ごかつ子クラブ 事業費960千円
 - ・対象 小学校5、6年生の児童(事前登録)
 - ・場所 ごか西児童館
 - ・時間 平日午後5時から午後7時まで
 - ・料金 児童1人につき2,000円/月
 - ・内容 見守りサポーターによる学習や遊びの支援
- ◆ 五霞町こども計画の策定 事業費4,224千円
こどもまんなか社会の実現に向けた五霞町こども計画を策定する。



【継続】障害者の自立支援

事業名 地域生活支援事業(54ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 24,359千円【▲3,939千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 障害者の就労支援

事業の目的

- 障害のある方が意欲や適正、能力に応じて就労できるよう、町内の事業所と連携し、雇用や就労の支援を実施する。

主な事業内容

- 【障害のある方への就労支援】
- ◆ ハローワーク・就労継続支援事業所との調整を行う。
 - ◆ 父母の会説明会を開催する。
 - ◆ 町内の障害者就労継続支援B型事業所の見学会を実施する。



【継続】避難行動要支援者に対する支援

健康福祉課社会福祉G

事業名 障害者(児)社会参加支援事業(54ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 17,386千円【+8,333千円】

※【】内の数値は対前年度比



➤ 災害時における避難行動要支援者の
安心・安全の確保

事業の目的

- 災害時において、避難行動要支援者が安心・安全に避難できるよう、搬送支援や避難誘導方法を明確にする。

主な事業内容

- ◆ 避難行動要支援者登録台帳の整理を行う。
- ◆ 避難行動要支援者の避難を想定した災害訓練を実施する。
- ◆ 避難行動要支援者支援マニュアルの改定を行う。
- ◆ 避難行動要支援者の受入れ可能な介護事業所との連携を行う。
- ◆ 福祉避難所の位置付けを明確化する。



【継続】低所得者世帯への支援

健康福祉課社会福祉G

事業名 価格高騰臨時交付金支給事業

予算額 25,005千円【R5年度繰越明許費】



➤ 住民税均等割のみ課税世帯に対する
給付金の支給

事業の目的

- 低所得者世帯に対する支援として、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり10万円、こども1人当たり5万円を給付する。

主な事業内容

- ◆ 基準日 令和5年12月1日
- ◆ 対象者 基準日に住民登録があり令和5年度住民税均等割のみ課税されている世帯
- ◆ 支給額 1世帯当たり10万円 18歳以下のこども1人当たり5万円

スケジュール

3月	4月
○システム改修 ○確認書送付	○給付金振込
← 確認作業 →	

【新規・拡充】インフルエンザ・おたふくかぜ予防接種の無料化

健康福祉課健康支援室

事業名 予防接種事業(64ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 18,154千円【▲3,994千円】
※【】内の数値は対前年度比

事業の目的

- 子育て世代の経済的負担の軽減及びインフルエンザに罹患した時の重症化や合併症の予防、さらには、おたふくかぜのウイルスが感染することで起こるムンプス難聴などの合併症を予防することを目的に予防接種費用の助成を行う。

主な事業内容

- ◆ おたふくかぜの予防接種費用を全額助成(無料化)する。
対象者・回数 1歳～3歳未満 1回／人
・予防接種委託料 420千円
- ◆ インフルエンザ予防接種費用を全額助成(無料化)へ拡充する。
対象者・回数 生後6か月～12歳 2回／年度
13歳～中学3年生 1回／年度
・予防接種委託料 2,534千円



- 1歳～3歳未満児のおたふくかぜ予防接種費用を全額助成(無料化)
- 生後6か月～中学3年生までのインフルエンザ予防接種費用を全額助成(無料化)

【新規】家庭・学校・地域及び関係機関連携による健康増進

健康福祉課健康支援室

事業名 健康増進事業(65ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 19,070千円【+1,998千円】
※【】内の数値は対前年度比

事業の目的

- 第6次五霞町総合計画に掲げる「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指して、家庭・学校・地域、そして関係機関との連携を強化した健康増進事業を計画的に実施するため計画を策定する。なお、本計画は健康増進法第8条第2項に規定する市町村の健康増進計画である。

主な事業内容

- ◆ 健康づくり計画を策定するために、本町の健康づくりをめぐる現状と課題の分析並びに町民を対象としたアンケート調査の実施、ヒアリング調査を行い計画を策定する。
計画期間は、令和7年度を初年度とし令和11年度までの5年間とする。
・計画策定委託料 3,015千円



- 第5期五霞町健康づくり計画の策定

【拡充】各種がん検診推進による町民の健康増進

健康福祉課健康支援室

事業名 健康増進事業(65ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 19,070千円【+1,998千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ がん検診受診率向上対策の拡充

事業の目的

- がんの早期発見、早期治療を行うためがん検診を実施し町民の健康を確保する。

主な事業内容

- ◆ 主な検診項目: 肺がん 胃がん 大腸がん 乳がん 子宮頸がん
- ◆ 実施回数: 12日間/年間 うち各項目1人1回受診可
- ◆ 受診率向上対策
 - ① 対象者に対して個別通知を行う。その際、返信用ハガキ(予約票)を送付することにより予約を簡素化し受診率の向上に繋げる。
 - ② 完全予約制として検診の効率化と待ち時間を短縮し、受診者の負担を軽減する。
 - ③ 乳がん、子宮頸がん検診は集団検診の他、個別健診の委託医療機関を拡充する。

【拡充】地域支え合い協議体の充実

健康福祉課高齢者支援G

事業名 生活支援体制整備事業(183ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 4,738千円【▲602千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ 地域による助け合いの仕組みづくり

事業の目的

- 身近な地域での助け合い(互助)の仕組みを作り、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう支援する。

主な事業内容

- ◆ 助け合いを広げる基盤づくり
 - ・生活支援コーディネーターの育成
 - ・第2層協議体の整備生活圏域を特定することで、地域の実情を把握し、サービスにつなげることができる。
- ◆ 地域の生活支援ニーズの把握を行う。
- ◆ 社会資源の把握を行う。

目指す地域像とは・・・

近所の人と話していると・・・

「近所の〇〇さんは、一人暮らしで、元気がない」
「食事も食べているのか心配」

居場所づくりボランティアから報告
(第2層協議体メンバーとして想定)

五霞町地域包括支援センターへ連絡
配食サービス利用、体力も付き、地域の通い場にも参加。
在宅ケアチームによる見守り開始

その人にあつた支援が受けられ、
近所の人との交流も増えたことにより、元気になる。

【継続】認知症施策の総合的な取組

健康福祉課高齢者支援G

事業名 認知症総合支援事業(183ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 5,001千円【+2,342千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ 認知症の方が尊厳を持ち、希望を持って暮らせる共生社会の実現

事業の目的

- 認知症に関する法律「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和6年1月に施行されたため、内容の充実を図る。

主な事業内容

- ◆ 認知症初期集中支援事業
認知症初期集中支援チーム員会議(年6回)を開催し、認知症が疑われる人等の状態に応じて必要な支援を行う。
- ◆ 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座を行う。
- ◆ キャラバンメイト(指導者)の育成を行う。
- ◆ オレンジカフェを開催する。(GO Café 心音)
- ◆ チームオレンジの取組みの推進を行う。
- ◆ 広報活動を行う。



令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

生活安全課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	防災G	【拡充】 ①災害対策事業 ②地域防災対策推進事業	① 4,832千円 ②14,376千円
2	防災G	【継続】 消防団活動事業	19,388千円
3	くらし環境G	【継続】 地域公共交通システム構築事業	31,267千円
4	くらし環境G	【継続】 地域防犯対策推進事業	896千円
5	くらし環境G	【継続】 一般家庭ごみ減量化対策事業	352千円
6	くらし環境G	【継続】 空家等対策事業	3,618千円

【拡充】災害に備えた初動対応体制の確立

生活安全課防災G

事業名	①災害対策事業(88ページ) ②地域防災対策推進事業(88ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	①4,832千円【+624千円】 ②14,376千円【+6,391千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 防災体制の強化
- 防災訓練の実施
- 災害に備えた備蓄物資の充実

事業の目的

- 近年の災害を教訓として、備蓄食料並びに応急資材の補充強化及び各種マニュアル等の見直しによる初動対応体制の確立など激甚化する各種災害に備える。

主な事業内容

- ◆ 危機管理監を中心として、庁内の防災体制の充実を図るとともに、町の防災体制を分析し、実情に沿ったマニュアルや計画の見直しを行い、関係機関や自主防災組織と連携した防災訓練を実施する。
- ◆ 発災時に対応する備蓄品や資材等の備えと防災行政無線の維持管理を行う。
 - ・災害時非常用備蓄品の更新、拡充(飲料・食料等) 1,235千円
 - ・水害ハザードマップ更新業務委託 4,180千円
 - ・防災行政無線保守管理委託料 2,901千円



【拡充】地域消防団の災害対応の迅速化及び体制確立

生活安全課防災G

事業名	消防団活動事業(86ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	19,388千円【+106千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 消防団員の確保と団員の訓練実施による安心・安全なまちづくり

事業の目的

- 消防団員を確保し、各種訓練や防火啓発を行い、火災や災害時の迅速対応により、被害を最小限に抑える。

主な事業内容

- ◆ 消防団員が火災時や水害時等において迅速で確実な対応ができるように日頃より規律訓練、消火活動訓練、水防活動訓練や資機材点検を実施する。さらに、防火広報等の各種予防活動や技術力強化のための茨城県消防ポンプ操法競技大会への参加や町防災訓練への協力等を行う。
- ◆ 令和7年度に新たな消防団体制をスタートさせるため、令和6年度は定数見直しや機能別消防団の導入に向けた検討を行う。
 - ・消防団員報酬 8,401千円
 - ・退職消防団員報償金 3,247千円
 - ・消防団公務災害福祉共済負担金 2,655千円
 - ・消防団活動用消耗品及び衣服 1,249千円

【継続】ごかりん号の利便性の向上による移動手段の確保

生活安全課くらし環境G

事業名	地域公共交通システム構築事業(36ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	31,267千円【+3,383千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- AIを用いたオンデマンド交通方式確立による、交通空白地の解消と運行の効率化

事業の目的

- 町民の誰もが便利で快適に利用できる持続可能な公共交通体制を構築する。

主な事業内容

- ◆ 令和6年1月から実証運行を開始したAIデマンド交通については、行政区や各種団体への出張による乗車予約教室を開催するなど利用促進の事業を引き続き実施する。
- ◆ 令和7年1月の本格運行開始を目標に利用者のニーズ調査を実施し、課題の整理及び今後の対応について、公共交通会議等と協議する。
 - ・AIシステム運用に係る経費 6,732千円



【継続】防犯対策の強化による地域住民の安心安全な生活の確保

生活安全課くらし環境G

事業名	地域防犯対策推進事業(40ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	896千円【▲14千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 防犯意識の向上のための啓発
- 境警察署と合同での防犯パトロールを実施による犯罪の未然防止

事業の目的

- 地域ぐるみでの防犯対策強化により、安心かつ安全なまちづくりの体制を構築する。

主な事業内容

- ◆ 境警察署並びに管内市町の連携強化と情報共有するため、防犯協会運営に必要な負担金を支出し、防犯に対する意識を向上させ、犯罪を未然に防止する。
 - ・防犯協会境地区負担金 740千円
- ◆ 警察官立寄所として地域の安全を見守る役割を担う地域安全センターの維持管理を行う。
 - ・地域安全センター維持管理費 126千円

【継続】ごみの減量化・資源化、適正処理の推進

生活安全課くらし環境G

事業名 一般家庭ごみ減量化対策事業(71ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 352千円【▲6,598千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ 啓発活動実施によるごみの減量化

事業の目的

- ごみの減量化に対する住民意識の向上により、ごみ処理施設への負荷の低減とカーボンニュートラルの実現を目指す。

主な事業内容

- ◆ ごみの収集日やごみの分別方法の更なる徹底化を図るため、ごみ収集カレンダーを全戸配布し、ごみ排出量の抑制する。
 - ・ごみ収集カレンダー作成費 352千円

【継続】空家の適正管理による住みよい環境の保持

生活安全課くらし環境G

事業名 空家等対策事業(72ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 3,618千円【+430千円】
※【】内の数値は対前年度比



➤ 空家等の適正な管理等

事業の目的

- 空家等の解体費用を助成することにより、住みよい住環境の維持に寄与する。

主な事業内容

- ◆ 災害等により倒壊の危険性のある特定空家について、行政代執行により解体工事を実施する際の費用を計上する。
 - ・特定空家等解体工事 3,245千円
- ◆ 町空家等解体費補助金交付要綱に基づき、空家の解体費用の一部を助成する。
 - ・空家対策補助金 300千円

令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

産業課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	地域振興G	【継続】 農業振興事業	4,746千円
2	地域振興G	【新規】 「道の駅ごか」振興事業	9,631千円

【継続】道の駅を拠点とした地域活性化

産業課地域振興G

事業名	農業振興事業(74ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	4,746千円【▲26千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 関係組織間の相互連携

事業の目的

- 町の魅力の向上、来場者の増加等を目的とした新たな商品の開発や地域資源の発掘・創出を行いソフト面の立て直しに取組み、地域力の向上につなげ、地域の活性化を図る。

主な事業内容

- ◆ 様々な地域活性化事業を行う「ごかみらいLab」、地域活性化起業人の「ABCクッキングスタジオ」、道の駅を運営する「㈱まちづくり交流センター」、五霞町が相互連携し、事業を実施する。
- ◆ 担い手育成等の農業者支援、地域商品の開発・高付加価値化、地域ブランディング等の地域活性化事業を行う、ごかみらいLabに対し、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、負担金を支出する。
・地域に開かれたまちづくり事業負担金 4,000千円



【新規】地域産業振興の中核となる組織の設立

産業課地域振興G

事業名	「道の駅ごか」振興事業(77ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	9,631千円【+2,935千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 多面的な機能を有する組織の構築

事業の目的

- 五霞町には、交流人口の創出、地域ブランディング(町の魅力・イメージ向上)、地域産業の活性化などが必要であり、それらを実行し、地域力を高めて行く事業を実施、先導する組織を構築する。

主な事業内容

- ◆ ごかみらいLabが行う地域活性化事業の継承・拡充、観光・イベント事業、プラットフォーム事業の構築、町内商品・サービス等の域外への販路拡大、地域ブランディングなどを実施する組織の構築に取り組む。
- ◆ 地域産業振興組織の設立・運営(健全経営・人材育成・地域活性化等)について専門的知識を持つ事業者による業務委託を行う。
地域商社設立運営支援業務委託料 6,050千円
(債務負担行為18,150千円(3年間))



令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

都市建設課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	建設・地籍G	【継続】 町道整備事業	6,856千円
2	建設・地籍G	【継続】 公園維持管理事業	10,001千円
3	建設・地籍G	【継続】 町道維持管理事業	52,853千円
4	市街地整備 推進室	【拡充】 適正土地利用推進事業	114,679千円
5	市街地整備 推進室	【拡充】 適正土地利用推進事業 (区域指定)	—
6	官民連携推 進室	【拡充】 地域優良賃貸住宅整備事業	—
7	官民連携推 進室	【拡充】 PPP・PFI推進事業	26,555千円

【継続】既存道路をより利便性のよい道路に

都市建設課建設・地籍G

事業名	町道整備事業(81ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	6,856千円【+3,595千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 道路改良工事の実施

事業の目的

- 町内道路について、改良工事を実施することで交通利便性及び安全性を向上させ、道路ネットワークの充実を図る。

主な事業内容

- ◆ 町道1982号線道路改良工事 5,000千円
 - ・排水構造物工 L=50m
 - ・路盤工 A=282㎡
 - ・舗装工 A=282㎡



【継続】魅力ある公園づくりの推進

都市建設課建設・地籍G

事業名	公園維持管理事業(85ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	10,001千円【▲816千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 都市公園等の適切な維持管理

事業の目的

- 公園の維持管理を行い、町民の憩いの場となるような魅力ある公園づくりを行う。

主な事業内容

- ◆ 町内に整備された都市公園及び都市公園以外の公園・緑地の清掃や付帯設備の維持管理を実施する。
都市公園等公園管理業務委託料 7,194千円



▲童夢公園



▲ごみずべ公園



▲ごみらい公園



▲利根川レクリエーション公園

【継続】安全・安心な道路インフラの維持

都市建設課建設・地籍G

事業名	町道維持管理事業(80ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	52,853千円【▲18,605千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 既存道路・橋梁の維持・修繕

事業の目的

- 町民が安全・安心に道路インフラを利用できるよう、主要幹線道路、各集落間を結ぶ生活道路及び橋梁の計画的な補修を行う。
- 街路樹等の植栽管理や幹線道路除草作業等を実施し、快適な道路を維持する。

主な事業内容

- ◆ 河川占用分及び幹線道路等除草作業委託料 4,986千円
- ◆ 街路樹管理委託料 2,464千円
- ◆ 橋梁点検業務委託料 4,070千円
- ◆ 町道維持補修工事 30,000千円
- ◆ 橋梁維持修繕工事 3,000千円



橋梁定期点検の様子(舟渡橋)

主要

【拡充】新たな産業拠点の形成

都市建設課市街地整備推進室

事業名	適正土地利用推進事業(84ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	114,679千円【+114,400千円】 ※【】内の数値は対前年度比



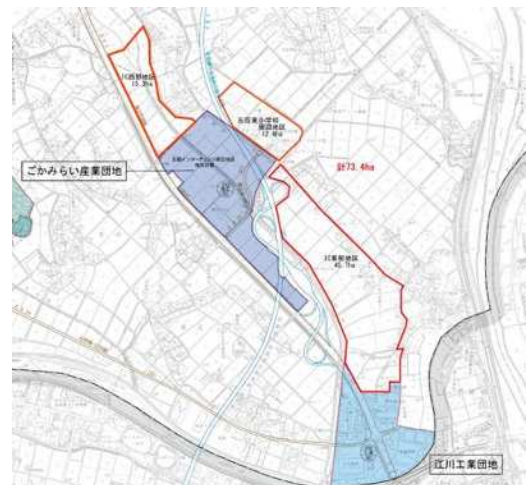
➤ 圏央道五霞IC周辺3地区による新規開発

事業の目的

- さらなる町の活性化と自主財源を確保するため、商業・工業・流通を中心とした新たな産業拠点の形成に向け、土地利用を推進する。

主な事業内容

- ◆ 新たな産業用地の創出に向け、測量等各種調査を進めるとともに、基本設計の策定、地権者説明会を行う。
 - ・土地利用事業化検討業務委託料 110,000千円



主要

【拡充】区域指定制度を活用した住宅の整備促進

都市建設課市街地整備推進室

事業名 適正土地利用推進事業

予算額 一千円【一千円】

※令和6年度、本事業実施に係る予算は執行なし



➤ 指定区域内土地のマッチングができるバンク制度の運用開始

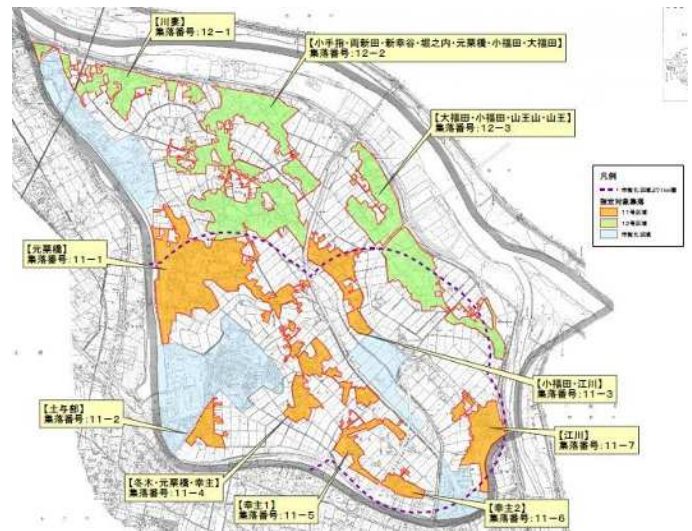
事業の目的

- 指定区域内土地の有効活用を通じ、住宅の整備促進並びに定住人口の増加を図る。

主な事業内容

- 指定区域内土地について、県宅地建物取引業協会と連携を図りながら、土地の売却等希望者と、その土地の利活用を希望する企業等とのマッチングを行い、土地活用を進める。

区域指定位置図



主要

【拡充】定住促進住宅整備による快適な住まい環境の創出

都市建設課官民連携推進室

事業名 地域優良賃貸住宅整備事業

予算額 一千円【一千円】

※令和6年度、本事業実施に係る予算は執行なし



➤ 原宿台・川妻2地区における地域優良賃貸住宅の整備

事業の目的

- 子育て世帯の転入促進、転出抑制並びに定住促進を主軸とした中堅所得者層向け定住促進住宅を供給することにより、快適な住まい環境を創出し、町の定住人口の増加や地域の活性化を図る。

主な事業内容

- 原宿台地区、川妻地区において、民間の技術的・経営的ノウハウを活用した質の高い住宅を整備する。
(原宿台地区24戸、川妻地区6戸)
- ・債務負担行為1,210,000千円(30年間)

住宅整備イメージ



【拡充】PPP・PFI手法を活用した町有財産の有効活用

都市建設課官民連携推進室

事業名 PPP・PFI推進事業(84ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 26,555千円【+25,639千円】

※【】内の数値は対前年度比

事業の目的

- PFI法を活用し、民間のノウハウによる質の高いサービスの導入や町財政の平準化等を図りつつ、公共施設等の統合・再整備や公有財産の有効利用について、民間資金を最大限に活用できるPPP・PFI事業の取組を積極的に行う。

主な事業内容

- ◆ 公園再整備及び廃校小学校跡地利用、町有財産有効活用に向けた「コンセプト」、「エリアマネジメント」、「利用増進」等を踏まえ、導入が求められる機能やサービスを決定する。
 - ・P-PFI及び小学校跡地における官民連携アドバイザー業務委託 15,950千円
 - ・町有財産有効活用検討業務委託10,000千円



- P-PFI制度導入による公園の再整備
- 東小学校跡地利活用の基本構想策定・基本計画策定・地区計画策定
- 町有地(防災ステーション地区隣接地)の利用検討

民間活用を検討する各施設



童夢公園



ごみずべ公園



東小学校



情報・防災ステーションごみ隣接地

令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

上下水道課

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	水道G	【継続】 水道施設整備事業	39,493千円
2	水道G	【継続】 思川開発事業	34,804千円
3	下水道G	【継続】 下水道施設整備事業	13,300千円

【継続】上水道施設等老朽化対策による水道水の安定供給

上下水道課水道G

事業名	水道施設整備事業(227ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	39,493千円【▲58,483千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 老朽化した設備等の計画的な更新による持続可能な施設維持

事業の目的

- 老朽化した設備等を計画的に更新し、水道水の安定的な供給ができるよう、施設の重要性や劣化によるリスクを踏まえ、計画的に更新する。

主な事業内容

- ◆ 安全で安心な水道水の安定供給を図るため、老朽化設備の更新工事等を行う。
 - ・浄水場配水ポンプ更新工事 33,000千円



【継続】思川開発事業参画による流水の正常な機能の維持

上下水道課水道G

事業名	思川開発事業(224ページ、227ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	34,804千円【▲30,177千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 思川開発事業に係る事業費負担

事業の目的

- 洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規利水を目的とした思川開発事業に参画し、水道水の安定供給ができるよう、本水利権(8,640m³/日)を確保する。

主な事業内容

- ◆ 利根川荒川水系水源地域対策基金により実施される思川開発施設に係る地域交流施設等振興対策事業に対し、ダム事業に参画している自治体で事業費を負担する。
 - ・思川開発施設基金事業負担金 1,197千円
- ◆ 水源地域対策特別法に基づき、栃木県が主体で実施している水源地域整備事業に対し、ダム事業に参画している自治体で事業費を負担する。
 - ・南摩ダム水源地域整備事業負担金 33,607千円

【継続】公共下水道施設等老朽化対策による適正な維持管理

上下水道課下水道G

事業名 下水道施設整備事業(260ページ)
 ※()内の数値は予算書のページ数

予算額 13,300千円【▲516,028千円】
 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 公共下水道広域化に向けた調整

事業の目的

- 維持管理の効率化の観点から、短期的・中期的方針として農業集落排水処理施設4地区を段階的に廃止し、環境浄化センターに接続する。長期的には環境浄化センターも廃止し、近隣流域下水道に流入させることが可能であるかの協議を進めていく。

主な事業内容

- ◆ 農業集落排水の統合については、令和4年度に財産処分手続きが完了し、令和5年度(令和6年度繰越予定)に環境浄化センターに接続するための設計等を進めている。
- ◆ 公共下水道の広域化については引き続き、茨城県及び近隣流域下水道と調整を進めていく。
 - ・広域化・共同化支援業務 3,300千円



令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

議会事務局

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	議会G	【継続】 議会運営事業	1,250千円
2	議会G	【継続】 議会広報事業	713千円

【継続】 適正な議会運営の執行

議会事務局議会G

事業名	議会運営事業(27ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	1,250千円【▲901千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 町政への町民の意思反映

事業の目的

- 議会が役割を十分に発揮できるよう、円滑かつ効率的な議会運営を実施する。

主な事業内容

- ◆ 定例会(年4回)及び臨時会の運営や議会運営委員会、全員協議会、常任委員会及び特別委員会が適切に開催されるよう、適切な準備・対応を行う。
- ◆ 議会の行政監視機能・政策立案機能が十分に発揮されるように、先進事例や町で執行されている事業等について視察研修を行う。

【継続】 町民に開かれた議会運営

議会事務局議会G

事業名	議会広報事業(28ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	713千円【▲5千円】 ※【】内の数値は対前年度比



➤ 議会だよりの発行
➤ 録画映像の配信

事業の目的

- 町民の方に議会の情報を分かりやすい形でお知らせできるよう開かれた議会への取り組みを実施する。

主な事業内容

- ◆ 議会だよりの発行を行う。
発行部数 2,600部(年4回)
・議会だより印刷製本代 713千円
- ◆ 役場庁舎内における定例会の映像中継を行う。
- ◆ 録画映像のインターネット配信を行う。
- ◆ 会議録を町ホームページへ掲載する。

令和6年度 主なる施策の事業概要説明一覧

教育委員会

No.	グループ	事業名	R6予算額
1	学校教育G	【拡充】 教育指導事業	24,382千円
2	学校教育G	【新規】 学校空調施設整備事業	7,700千円
3	学校教育G	【新規・継続】 教育委員会事務局事業	4,097千円
4	学校教育G	【新規】 教職員用PCリプレイス事業	—
5	生涯学習G	【新規】 社会教育推進事業	9,124千円
6	生涯学習G	【拡充】 生涯学習推進事業	2,244千円
7	生涯学習G	【拡充】 文化財保護活用事業	1,870千円
8	生涯学習G	【更新】 海洋センター施設管理事業	27,026千円

【拡充】英語教育・読解力の向上

教育委員会学校教育G

事業名 教育指導事業(92ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 24,382千円【▲16,165千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 実用英語技能検定の受験機会拡大
- 読解力を評価し、学力を向上

事業の目的

- 児童生徒への各検定受講助成や指導主事による教職員への指導を行うことで児童生徒の学力向上を図る

主な事業内容

- ◆ 児童生徒の実用英語技能検定等受験料について補助を行う。対象を中学3年から小学5・6年、中学1・2・3年まで拡大する。
 - ・実用英語技能検定等受験料補助金 883千円
- ◆ 小中一貫教育の基本カリキュラムに読解力を高める教育を組み込み、評価として日本語検定を実施する。
 - ・日本語検定受験料 794千円

ALTの授業風景



【新規】安全で誰もが安心できる学校施設の維持

教育委員会学校教育G

事業名 学校空調施設整備事業(99ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 7,700千円【皆増】
※【】内の数値は対前年度比



- 児童の熱中症対策
- 災害時の指定避難所としての防災機能の向上

事業の目的

- 生徒の学習・生活環境が快適かつ安全に維持されるとともに、災害時においても安全性・機能性を確保するため環境整備を行う。

主な事業内容

- ◆ 五霞中学校の体育館・武道場に空調設備を設置するため、令和6年度に設計を行う。(令和7年度工事予定)
 - ・工事設計業務委託 7,700千円

空調設備を設置する施設



五霞中学校体育館



五霞中学校武道場

【新規・継続】教育委員会事務局及び学校の円滑な運営

教育委員会学校教育G

事業名 教育委員会事務局事業(91ページ)
※()内の数値は予算書のページ数

予算額 4,097千円【+1,933千円】
※【】内の数値は対前年度比



- 五霞町にあった地域部活動の構築
- 令和8年度から五霞中学校の休日部活動を地域に完全移行

事業の目的

- 学校経営に影響のある課題等に対して、学校、保護者、地域及び有識者が連携し問題解決に取り組むとともに、教育委員会事務を円滑に行う。

主な事業内容

- ◆ 部活動地域移行検討委員会において、五霞町にあった地域部活動の体制構築及び運営方法の検討を行う。 224千円
- ◆ いじめの重大事態等が発生した場合の調査を行う。 75千円
- ◆ 五霞小学校開校式を実施する。 860千円
- ◆ 五霞東小学校(小学校統合により閉校)リース関係備品撤去費 1,000千円

部活動地域移行検討委員会の様子



【新規】新機種導入による業務の安定稼働

教育委員会学校教育G

事業名 教職員用PCリプレイス事業

予算額 一千円【-千円】
※令和6年度、本事業実施に係る予算は執行なし



- 新機種により機能、操作性の向上

事業の目的

- 五霞町立小学校に整備した教職員校務用PCがリプレイス時期を迎えるため、更新する。

主な事業内容

- ◆ 教職員が使用している校務用PCは、令和7年2月末にリース期間満了となるため、新たに教職員校務用PCのリース契約、5年間(令和7年4月～令和12年3月)を締結する。

※令和7年3月は再リースを予定。
・債務負担行為29,300千円(5年間)

導入スケジュール

期日(予定)	項目
令和6年8月	機器仕様決定
令和6年9月	業者選定
令和6年10月	入札
令和6年11月	契約・調達手続き
令和6年12月～令和7年1月	導入準備・設定作業
令和7年2月	テスト
令和7年4月	運用開始

【拡充】夏休みこども教室実施による居場所の提供

教育委員会生涯学習G

事業名 生涯学習推進事業(100ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 2,244千円【+1,869千円】

※【】内の数値は対前年度比



➤ 夏休み期間中、学校を利用した小学5、6年生の居場所を提供

事業の目的

■ 体験型に加え、小学5、6年生を対象に学習支援とEnglish campを行う夏休みこども教室を実施することで、児童の学力向上及び保護者の負担軽減を図る。

主な事業内容

- ◆ 地域の方との交流、創作活動など学校の授業では体験できない学び場の提供として実施してきた「体験型子ども教室」に加え、教育活動指導員及び有償ボランティアを活用し、夏休み前に学習した授業の振り返り学習及び英語学習の強化を図る。
- ・学習支援こども教室実施に係る経費
(English camp委託料等) 1,867千円



【新規】社会教育主事配置による地域連携強化

教育委員会生涯学習G

事業名 社会教育推進事業(102ページ)

※()内の数値は予算書のページ数

予算額 9,124千円【皆増】

※【】内の数値は対前年度比



➤ 教員籍の社会教育主事を配置することによる学校・家庭・地域の連携強化

事業の目的

■ 地方創生の観点から人口減少時代の新しい地域づくりを進めるため、学校を核とした連携・協働の取組みを通じて地域を担う人材の育成や地域住民とのつながりを深めることが必要である。そのためには学校の組織体制、教職員の役割分担等の実状を十分理解している教員籍の社会教育主事を配置することで学校・家庭・地域とのスムーズな橋渡しをすることができる。

主な事業内容

- ◆ 文部科学省が推進する部活動の地域移行(令和8年度から休日の部活動を完全移行)や令和6年度からのコミュニティスクール(学校運営協議会を設置した学校)実施と併せ、地域と連携を行う。
- ◆ 現在、行っている家庭教育支援についても積極的に関わることで保幼小連携をさらに強化していく。



【拡充】文化財を活用した郷土愛醸成

教育委員会生涯学習G

事業名	文化財保護活用事業(103ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	1,870千円【+1,249千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- 文化財の適正保存
- シンポジウムの開催

事業の目的

- 役場庁舎と公民館の複合化を控え、現在公民館で所有する発掘した文化財、民具、古文書、絵画の整理・保存を行う。歴史・民俗に関するシンポジウムを開催し、発掘された人骨の公開をし町民の郷土愛を醸成する。

主な事業内容

- ◆ 文化財に携わった経験を持つ文化財専門員(町会計年度任用職員)や町史編纂で尽力いただいた吉田元明治大学教授の協力により、町の文化財の保存や管理を行う。また、令和元年度に予定していたシンポジウムを吉田先生をはじめ、当時依頼していた講師に再度お願いし実施する。
 - ・文化財保護活用に係る経費(報償費等) 1,567千円

【更新】B&G海洋センターろ過装置更新による利用者の安全確保

教育委員会生涯学習G

事業名	海洋センター施設管理事業(108ページ) ※()内の数値は予算書のページ数
予算額	27,026千円【+16,054千円】 ※【】内の数値は対前年度比



- B&G財団の助成による設備更新工事

事業の目的

- 設置から30年以上経過(平成5年開設)のろ過器の更新を行うことで、海洋センタープール利用者の安心・安全を確保する。

主な事業内容

- ◆ B&G海洋センター内の設備更新を行う。
 - ・ろ過器改修工事 14,950千円

